



迎春 2011年御挨拶



目まぐるしいほどに変わる世の中ですが、前穂は今年も「共にあって共に目指す」という姿勢を変わず守り続けて行きたいです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

自立センター前穂 松原 史弦

前穂通信

まええほつうしん



シリーズ「きょうだいの思い」

第一章 弟の「びょうき」

弟に障がいがあることを、母からどのような言葉で聞いたかよく覚えていない。不思議なもので、母から聞いた後に自分が返した言葉だけは鮮明に覚えている。

「大きくなっても喋られへんの？ ライオンとか、歯磨きの会社の名前しか喋られへんびょうき？」

この言葉からわかるように、当時から弟は会社の名前やマークをよく覚えていたのだらうと思う。その時の母は、隣に立つ私に顔を向けることなく、台所で洗い物をしながら無言でうなづいていた。

何とも言えない険しい表情で。

弟の「自閉症」がわかったのは三才になる前。私が五才になる前である。

※ある当事者のお姉様に、前穂通信の為に書き下ろして頂きました。

発行日	2011年1月1日
発行元	自立センター前穂 〒569-1022 高槻市日吉台 1番町21-18 072-689-8600




新・陶芸室～好評いただいております～

2010年11月15日(月)にデビューさせました新創作室(仮称:作陶室)は、「陶芸室」と命名しました。

当初、「新しい部屋に慣れて頂けるだろうか?」「落ち着いて作陶して頂けるだろうか?」など色々心配をしておりました。保護者の方々にアドバイスを頂いたり、想定しうる事前準備をしたりと気がまえて初回利用に臨みました。

しかし、皆様それぞれの違いはあれど興味深そうに入室され、すぐに気に入られたご様子で作陶して頂きました。

外からの音刺激も少ない静かで温かな空間で、新しく設置した電動ろくろも注目の的となっています。回を重ねるごとに、陶芸室への愛着が増しておられるようにも感じています。今後もこの新しい陶芸室で、作品創り、粘土遊びと皆様がのびのびと楽しめるプログラムに取り組んでゆきたいと願っています。